



General mindをもった Specialistを目指す

Kyoto Chubu Medical center

京都中部総合医療センター
臨床研修病院説明動画

General mindをもったSpecialistを目指す

全国から研修医が集まり 上級医とともに研鑽に励んでいます

出身大学の一覧

2023年度の研修医11名（たすき掛け1名含む）

愛知医科大学、兵庫医科大学、日本大学、香川大学
島根大学、京都府立医科大学、聖マリアンナ医科大学
宮崎大学、富山大学

過去の研修医

京都府立医科大学、大阪医科大学、大阪市立大学
関西医科大学、滋賀医科大学、金沢医科大学、福井大学
浜松医科大学、慶應義塾大学、島根大学、信州大学、北里
大学、産業医科大学、福岡大学、大分大学、熊本大学、
奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学 など



General mindをもったSpecialist

自分に求められている役割を理解し、果たせる医師



様々な規模の医療機関



多種多様な環境



Pandemicを含む社会の変化

南丹医療圏

面積 1,144.29km² (京都府の約1/4)

人口 約14万人

南丹市、亀岡市、京丹波町



南丹医療圏の拠点病院

**超急性期、急性期、回復期医療
を担い地域完結型医療を提供**

病床数464床

一般450床、結核10床、感染4床

(COVID-19診療のため一部変更あり)

General mindをもったSpecialist

皆さんを支えるのは、臓器別専門医になっても総合医的視点を持つ力



自分の得意な症状だけが来るとは限らず、
自分の得意な症状でも原因が得意な病気とは限らない。

主訴が何であっても、まず初期対応し、適切な医師や
医療機関と連携しながら診療にあたる総合医としての
役割が求められる。

General mindをもったSpecialist

ある時は「臓器別専門医」
ある時は「総合医」として
求められる役割を果たせる医師

- 1 診療科が多く、各科の垣根が無く相談しやすい
- 2 全員に目が行き届き、研修状況の把握も可能
- 3 自由度の高いオリジナルのローテーション
- 4 基礎力を養う勉強会とカンファレンス



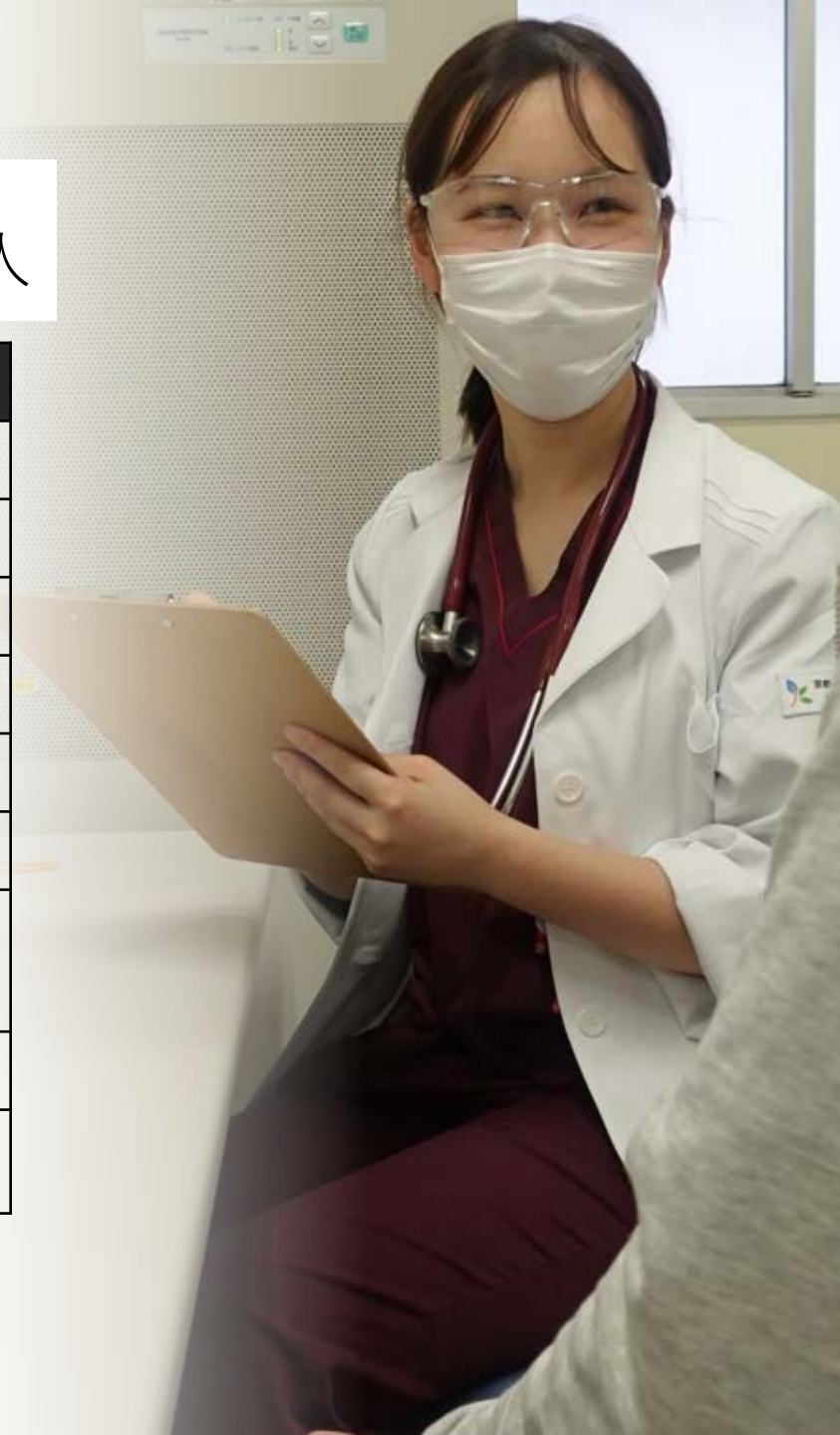
Point 1

多数の診療科がそろっている

指導医数**30**人

診療科	医師数	診療科	医師数	診療科	医師数
循環器内科	8	産婦人科	3	耳鼻科	2
消化器内科	5	小児科	6	眼科	4
呼吸器内科	3	心臓血管外科	1※	泌尿器科	3
肝臓内科	1	脳神経外科	3※	皮膚科	1
脳神経内科	3	呼吸器外科	1	病理診断科	1
腎臓内科	5	乳腺外科	1	麻酔科	5
内分泌代謝 糖尿病内科	1	外科 消化器外科	5	放射線科	3
総合診療科	2	小児外科	3	精神科	1
血液内科	2※	整形外科	7	※非常勤医師	

地域医療研修と精神科2週間を除く臨床研修を当院で完結可能
多くの指導医や上級医から専門的医療について学べます



高度専門的医療を支える

手術支援ロボット「ダビンチ」導入

外科、泌尿器科領域で使用しています



多くの診療科で救急医療を担う

Common disease から 稀少疾患を含む幅広い疾患を経験する

救急車搬入台数 年間 **3213** 台
ドクターヘリコプターも含む
2022年度

振り返り

朝と夕の引継ぎ時、指導医と症例を振り返る。

フォローカンファレンス

2週間に1回、再診症例やフィードバックのあった症例を共有する。

Point 3

自由度の高いローテーション

カルテ記載や身体診察など
診療技術の基本を習得

自由選択期間では将来の
志望診療科を1年目で研修
できます

	1年目	2年目
4	消化器内科	自由選択
5	腎臓内科	地域研修
6	脳神経内科	
7	循環器内科	自由選択 or 必修科目
8		
9	呼吸器内科 内分泌代謝・ 糖尿病内科	
10	小児科	
11	外科	
12	救急	
1		
2		
3	自由選択	

地域研修の川西診療所、
京丹波町病院ともに
公共交通機関で通勤可能

Point 3

自由度の高いローテーション

必修

内科 (合計24週間)、外科 (4週間)
小児科 (4週間)、産婦人科 (4週間)
救急(内科、外科、整形外科、小児科、
産婦人科など12週間)、一般外来研修
精神科 (当院と福知会もみじヶ丘病院を各2週間)
地域医療 (川西診療所と京丹波町病院を各2週間)

自由選択

内科各診療科、救急、整形外科、
小児科、産婦人科、
外科(呼吸器、消化器、乳腺、小児)
泌尿器科、麻酔科、放射線科、
精神科、眼科、耳鼻咽喉科、
皮膚科、脳神経外科、病理診断科

オリジナルのローテーション作成

研修診療科の変更可能なため、途中で志望科が変わっても調整できる

志望診療科が決まっている人も決まっていない人も安心してカリキュラムを作成できる

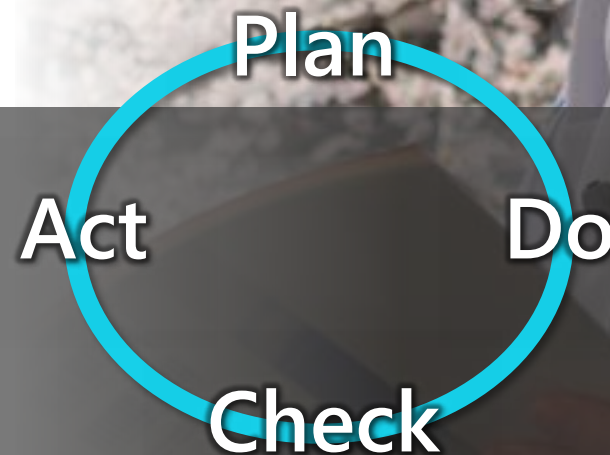
Point 2

一人一人に目が行き届く

**研修医の数が多すぎず少なすぎず一人一人に目が行き届き
EPOC2※を用いた360度評価で研修の進捗状況も確認します**

※EPOC2; E-Portfolio of Clinical training （オンライン臨床教育評価システム）

PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）の中でも特にCheckにおいて、EPOC2を通して上級医や指導医、メディカルスタッフから客観的な評価を受け、見直すことで、より一層学びが深まる。



内科、外科系、小児科、産婦人科の医師が当直を行い24時間365日の救急体制を支えています

当直

問診－身体診察－検査の判断－診断－方針決定－患者説明

救急室での診療が中心で、上級医の指導を受け、報告と相談を繰り返し、診療を行います。
最初は戸惑うことも多いと思いますが、大丈夫。
少しずつできることを増やしていきます。

当直は日直もあわせて月に3～5回です。



Point 4

基礎力を養う勉強会

What is your diagnosis?

診断推論カンファレンス

最も伝統ある

Weekly研修医勉強会

招待講師による

救急カンファレンス

医学英語のinputとoutputを極める

CPSサークル

感染症の基礎を徹底的に身につける

感染症セミナー



What is your diagnosis? 診断推論カンファレンス

名古屋から診断推論のスペシャリストをお招きする特別回も定期開催中です。

当院の症例を中心に提示し診断までのプロセスを学び、直感で診断できない症例に対応するために論理立てて考える診療力を身につけます。

これまでの症例の例

移動する頸部痛→バセドウ病
咽頭痛と口唇浮腫→クインケ浮腫
発熱＋肝機能障害→レプトスピラ症
発熱＋紅斑＋多発関節痛→成人Still病
高齢男性＋体重減少→感染性心内膜炎

最も伝統ある勉強会

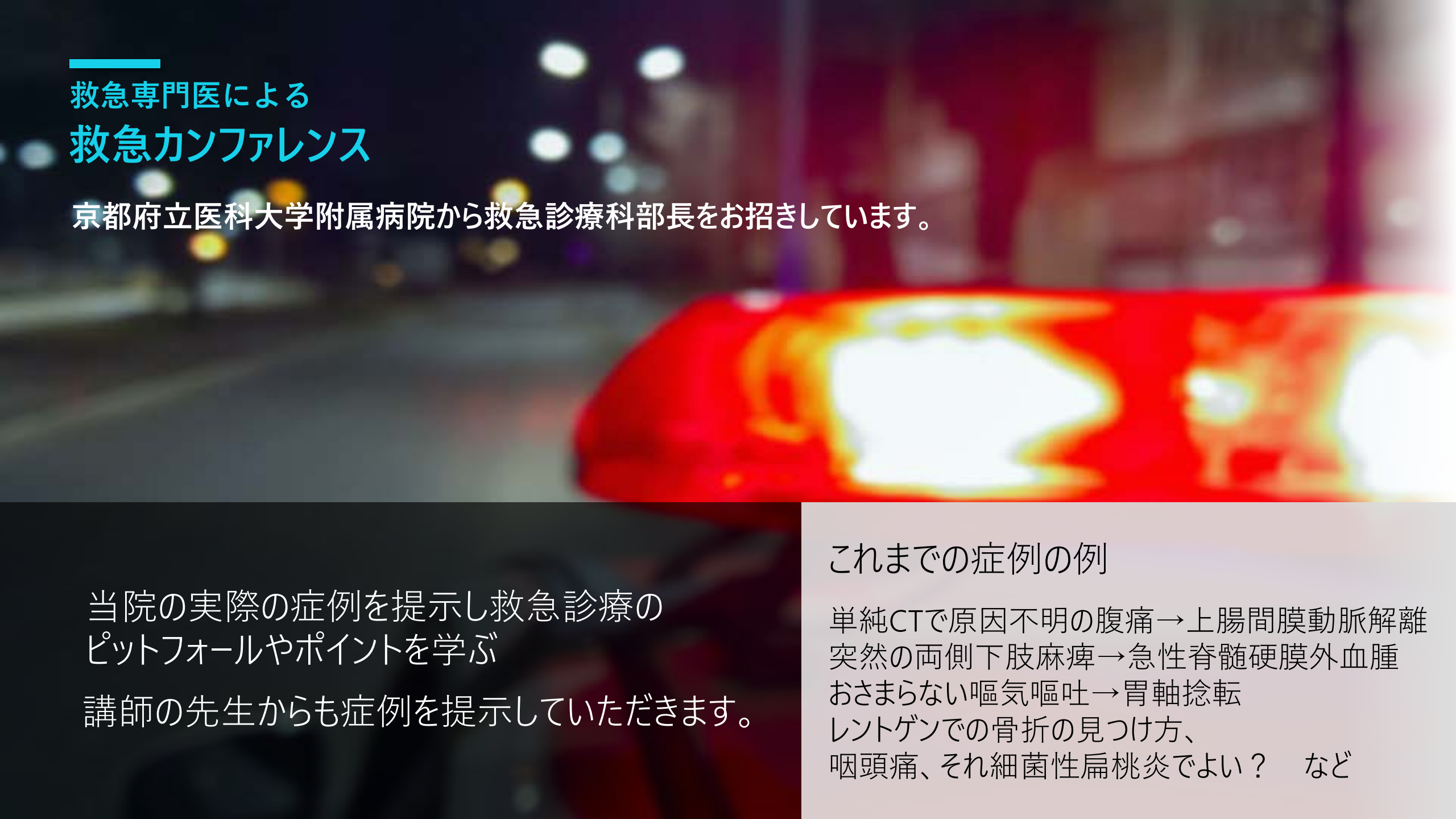
Weekly研修医勉強会

今日から役に立つ、日常診療に生かせるテーマをレクチャー

人に教えることで自分の知識も深まる

これまでのテーマの例

救急疾患シリーズ（胸痛、めまい、など）
麻酔科で使用する薬剤、心電図の読み方
輸液、高K血症の対応、ステロイドの使用方法
発熱性好中球減少症、高血圧の管理
人工呼吸器について、血液ガスの読み方 など



救急専門医による 救急カンファレンス

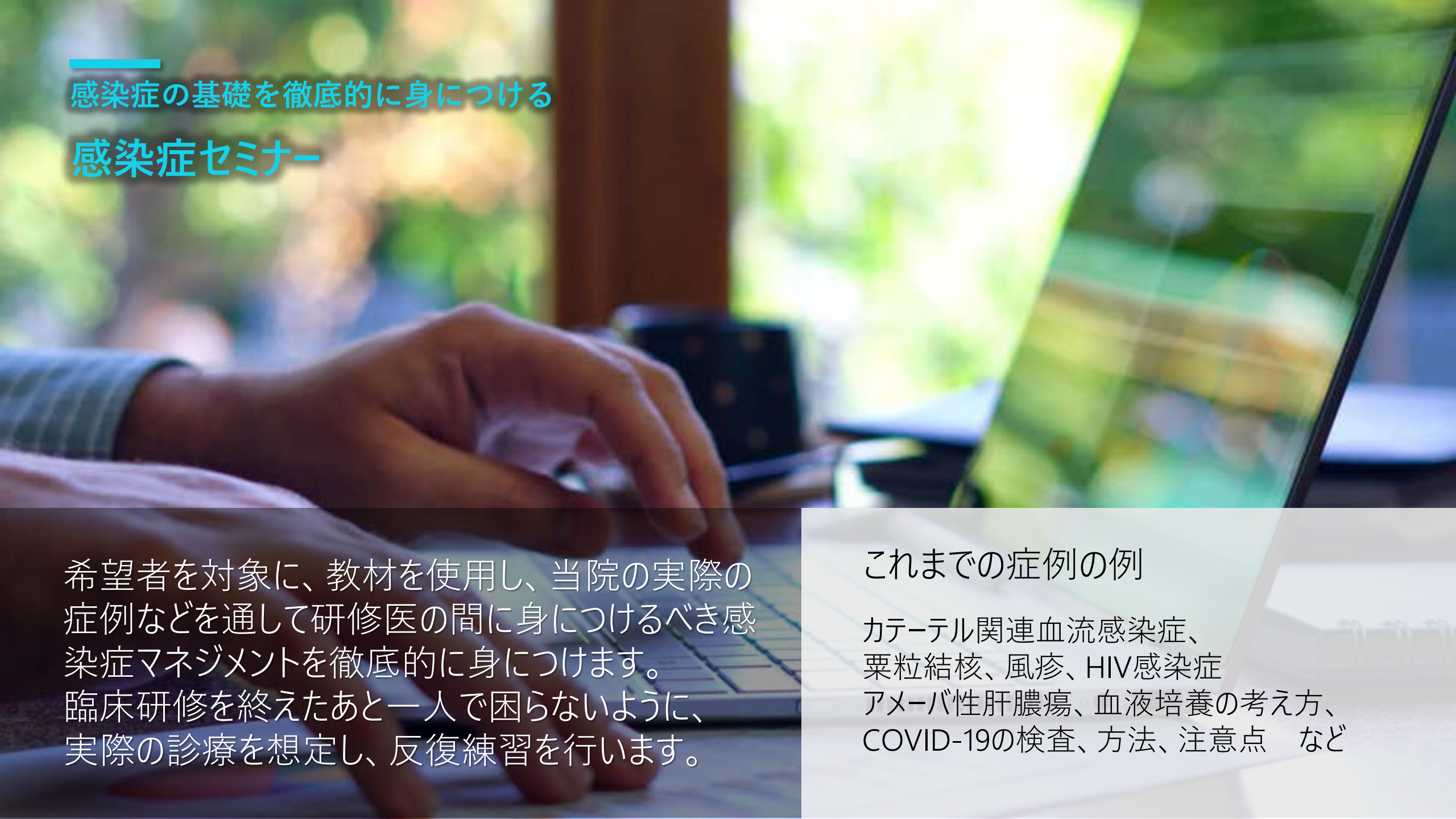
京都府立医科大学附属病院から救急診療科部長をお招きしています。

当院の実際の症例を提示し救急診療の
ピットフォールやポイントを学ぶ

講師の先生からも症例を提示していただきます。

これまでの症例の例

単純CTで原因不明の腹痛→上腸間膜動脈解離
突然の両側下肢麻痺→急性脊髄硬膜外血腫
おさまらない嘔気嘔吐→胃軸捻転
レントゲンでの骨折の見つけ方、
咽頭痛、それ細菌性扁桃炎でよい？ など



感染症の基礎を徹底的に身につける

感染症セミナー

希望者を対象に、教材を使用し、当院の実際の症例などを通して研修医の間に身につけるべき感染症マネジメントを徹底的に身につけます。臨床研修を終えたあと一人で困らないように、実際の診療を想定し、反復練習を行います。

これまでの症例の例

カテーテル関連血流感染症、
粟粒結核、風疹、HIV感染症
アメーバ性肝膿瘍、血液培養の考え方、
COVID-19の検査、方法、注意点 など



Clinical Problem Solving

CPSサークル

医学知識と医学英語のinputとoutputを行い英語での発信力も鍛える！

「日本語でディスカッション」

一緒にCPSの症例を読み解く



「英語でディスカッション」

後日、同じ症例を外国人講師と
英語でディスカッションする！

New England Journal of Medicineの "**Clinical Problem Solving**" に毎月掲載される症例検討記事を、研修医の皆さんと一緒に読み解くCPS勉強会（日本語でディスカッション）に加えて、今年から希望者と外国人講師とで行う英語でのディスカッションの練習も始めました！

2023年
3月

3月17日 第74回内科診断カンファレンス

総合診療科から外来症例の提示でclinical problem solvingを練習しました。後半はドパミン、セロトニン、ノルアドレナリン関連の講義。

3月21日 オンライン診断推論カンファレンス

全国の医学生16名の参加がありました。症例を通して診断にたどりつく過程を共有しました。

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10 第73回内科診断カンファレンス・感染症セミナー	11
12	13 Clinical Problem Solving	14 救急カンファレンス	15	16	17 第74回内科診断カンファレンス	18
19	20	21 オンライン診断推論カンファレンス	22 感染症セミナー	23	24 第75回内科診断カンファレンス	25
26	27	28 救急カンファレンス	29	30	31	



勉強会やの情報は
病院HPにも掲載中



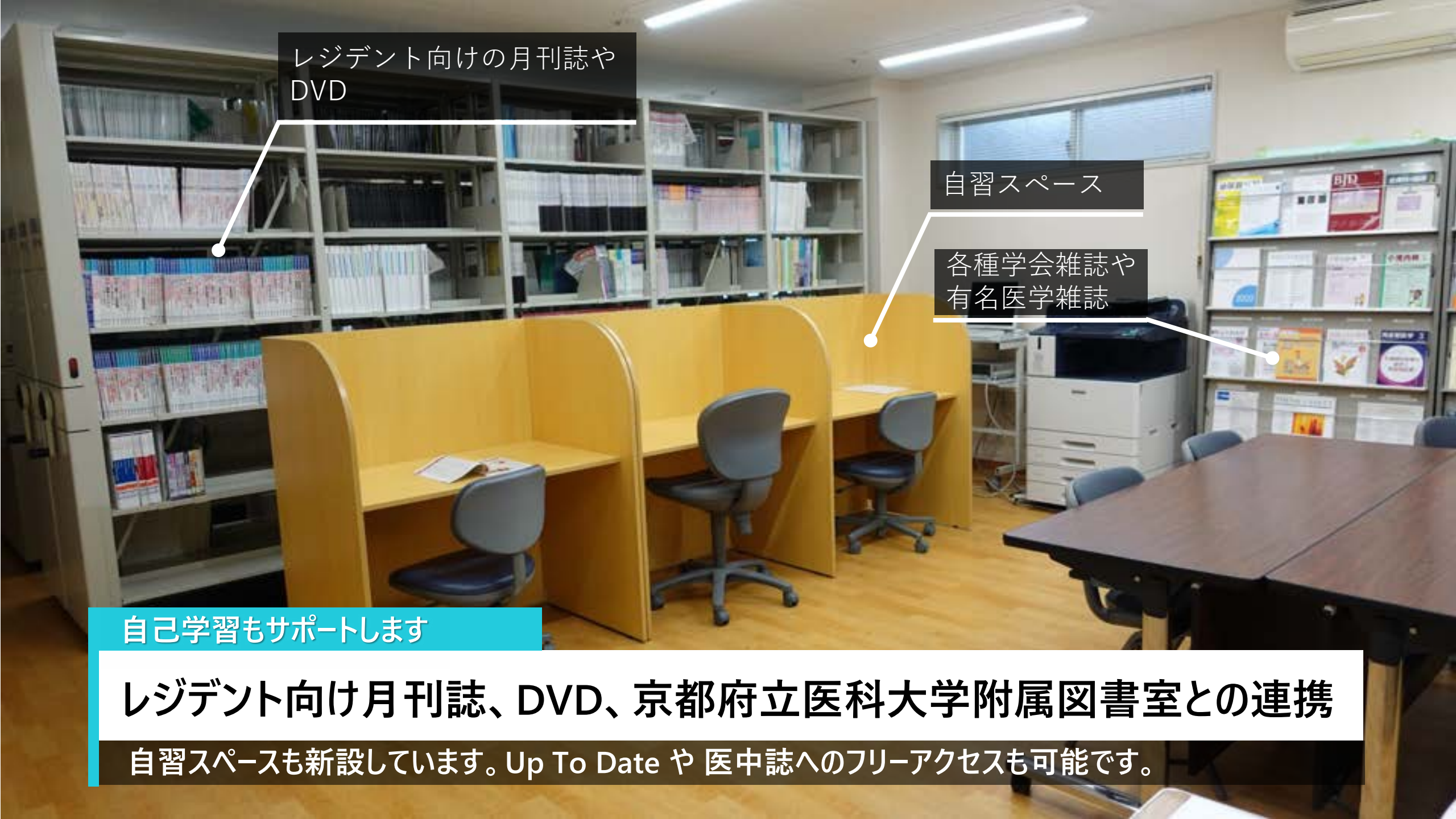
エコーガイド下
中心静脈カテーテル挿入



経鼻経管挿入

自己学習もサポートします

侵襲性の高い処置はシミュレーションキットを用いて
上級医指導のもと練習します



レジデント向けの月刊誌や
DVD

自習スペース

各種学会雑誌や
有名医学雑誌

自己学習もサポートします

レジデント向け月刊誌、DVD、京都府立医科大学附属図書室との連携

自習スペースも新設しています。Up To Date や 医中誌へのフリーアクセスも可能です。



学会発表にも積極的に参加

日本内科学会近畿地方会は登竜門

2022/3/12

快挙!!

日本内科学会
第235回近畿地方会 若手奨励賞 最優秀賞受賞

研修医 村田修一先生（2年目研修医 当時）

演題名

ADAMTS13 inhibitor boostingを来した
後天性血栓性血小板減少性紫斑病の1例

米国内科学会日本支部総会 Dr's Dilemma Competition

2022/6/26

臨床研修病院対抗クイズトーナメントに出場

決勝進出とはなりませんでした、
解説も聞けて大変勉強になりました

今年度も参加予定です。



JCEP認定病院

臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行う評価機関(JCEP: NPO法人卒後臨床研修評価機構)による評価で、認定基準を達成していると認定されています。





General mind をもった Specialist を一緒に目指そう!!

2023年度採用研修医募集要項（参考）

募集人数 5名
選考方法 筆記試験（国家試験に準じた選択式問題），
面接，小論文
試験日程 ①8月12日（金）11時～
②8月26日（金）11時～

その他
京都府立医科大学附属病院たすきがけ最大3名

随時開催中！
病院見学＆個別オンライン説明会